

ほし み 星を見よう!

2021年6月号
No.270
2021年6月10日

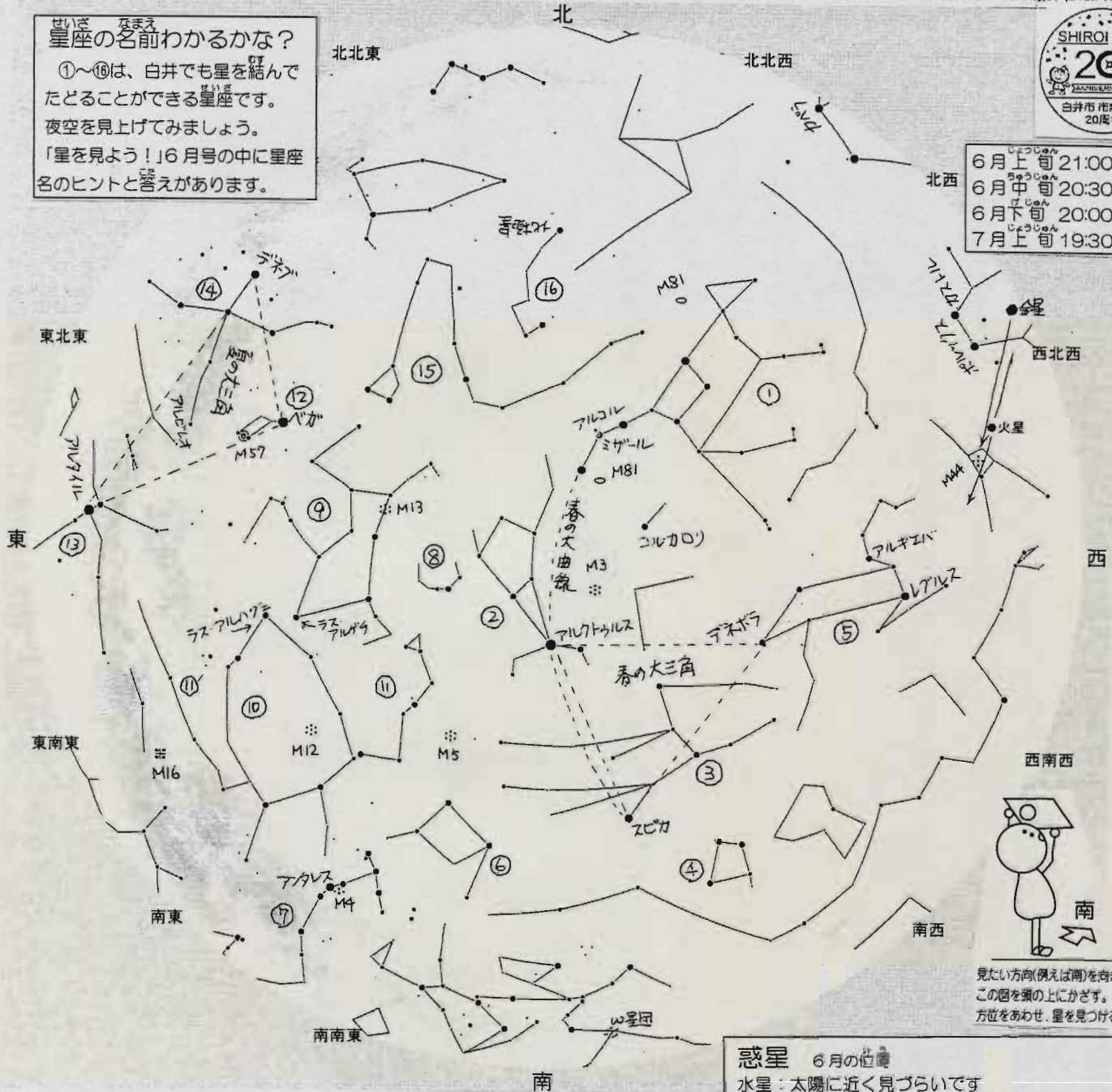
しろいしぶんか
白井市文化センター・プラネタリウム
〒270-1422 白井市復1148-8
TEL047-492-1125 Fax047-492-8016
e-mail: planet@center.shiroi.chiba.jp
URL: https://www.center.shiroi.chiba.jp/planet/



6月上旬 21:00 ころ
6月中旬 20:30 ころ
6月下旬 20:00 ころ
7月上旬 19:30 ころ

星座の名前わかるかな?

①~⑯は、白井でも星を結んでたどることができる星座です。夜空を見上げてみましょう。「星を見よう!」6月号の中に星座名のヒントと答えがあります。



見たい方向(例えば南)を向き、この図を頭の上にかざす。方位をあわせ、星を見つける。

惑星 6月の位置

- 水星: 太陽に近く見づらいです
- 金星: 夕方 西天 -3.9 等 おうし座→かに座
- 火星: 夕方 西天 ふたご座→かに座 1.7 等→1.8 等
- 木星: 夜半 南東天 みずがめ座 -2.4 等→2.6 等
- 土星: 夜半 南東天 やぎ座 0.6 等→0.4 等

◆来館時はマスク着用とドーム入場前に手指消毒をお願いします

★土曜日・日曜日・月曜日と重ならない祝日・県民の日 6/15(火) 予約不要

☆ロイヤルアワー 11:30 やじるしくんの七夕

☆一般向け投映 15:00 星座ミュージアムへびつかい座 各投映 約45分間

★どなたでも学習投映 星の明るさと色 星の位置変化(夏) 小学4年生 予約不要

6月19日(土)・7月3日(土) 9:45 各約60分間 6/5(土)から

★星を見る会 要予約 対象:小学生以上(小学生は保護者同伴) 小学生未満は受付不可

6月19日(土) 6月は定員に達しました / 7月17日(土) 19:30 各約60分間

毎月1日9:00から電話予約開始(1日が月曜の時は2日) 大人200円 高校生以下無料

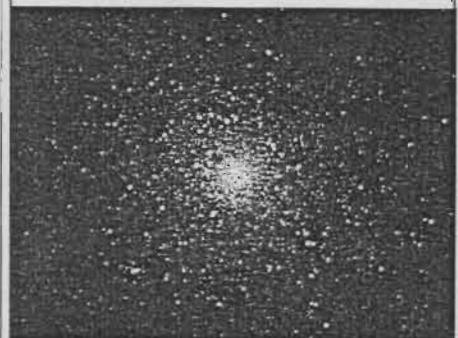
ドーム内で解説後、実際の空で星座を探し、望遠鏡で月、球状星団他を観望

します 雨天 天の場合はドーム内で約45分間の星空解説のみ

☆プラネタリウムの休館日 毎週月曜日と年末年始

球状星団M5(へび座)

写真: 国立天文台



へび座・へびつかい座を探してみよう その1

星図：ステラナビゲーターVer.11/
南アストローツ/南アスキー

6月上旬 23:30ごろ
6月中旬 22:30ごろ
6月下旬 21:30ごろ

【へびつかい座】投映中 土・日・6/15(火)15:00

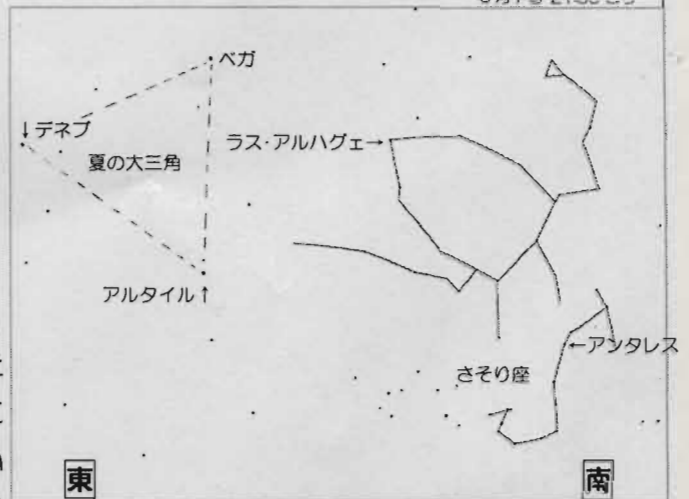
「へびつかい座」は、夏の星座で有名な「さそり座」を踏みつける位置に輝きます。夏の大三角の西寄りに2等星「ラス・アルハグエ(蛇を持つ者の頭という意味)」が頂点で、明るい星を結ぶと将棋の駒のような五角形が「へびつかい座」です。ラス・アルハグエは右星図の時刻では高さ約60°(握りこぶし6個分)の位置です。

「へび座」と「へびつかい座」は元々一つの星座でしたが、プトレマイオスによって「へび」と「へびつかい」に分けられました。現在では88星座の中で一番大きい星座は「うみへび座」ですが「へび座」と「へびつかい座」

を合わせると「うみへび座」よりも、空に占める割合は一番大きくなります。また、18世紀のポーデの星座絵には、当時のポーランド王に奉げた星座「ポニアトフスキーのおうし座*」(右)がへび座(尾)の部分にありました。

*この星座は1930年、国際天文学連合総会によって88星座が確定されたことにより削除されました。当時は星座が乱立しており、境界線も曖昧でした。

へびつかい座は、ギリシャの名医アスクレピオスとされています。アスクレピオスは、死者を蘇らせてしまうほどの腕前だったのですが、そのような行為が大神ゼウスの怒りに触れ、ゼウスが放った雷に打たれ命を奪われました。しかし、とても良い医者であったので、天に上げられ星座になったというお話が伝えられています。古代ギリシャ・ローマ時代には、アスクレピオスに因み、「アスクレパイオン」と呼ばれる医療センターが各地に作られ、現代でも遺構が残っています。(No271にっく)



かせいたんさき 火星探査機 インサイトの話題 (2)

中国の火星探査車(ローバー)「祝融」は、5月22日、火星面の走行に成功しました。火星には現在4台(内3台がローバー)の探査機が活動中です。パーサピアランスから切り離された小型ヘリコプターのインジェニュイティは6回のフライトに成功しました(5月末現在)。その火星は夕方の西空に輝いています。

唯一、定点観測をしているのがインサイトです。火星の火山活動が現在も存在する可能性を示す地震を観測しています。インサイト(2018年11月に着陸)は、地中観測に特化した探査機です。火星地下の熱流量を測定するため、地中5mまで掘り進む計画でしたが、予想外の土の状態のため、掘り進めず、この観測を中断しました。地震観測は継続中です。

じゅうせいれんせいてんたい 今月の見どころの重星連星天体

ミザール(おおぐま座)

肉眼二重星のアルコルで、目の検査もしましょう。

アルギエバ(しし座γ星)

オレンジ色2.6等星と黄色の3.8等星の二重星。

コル・カロリ(りょうけん座)

黄色の2.9等星と紫色の5.6等星の二重星。

アルピレオ(はくちょう座)

くちばしの星。オレンジ3等、青5等の星が寄り添うように輝きます。

こと座 ε 星 ダブルダブルスター

双眼鏡では二重星、望遠鏡で見ると四重星。二重星(ε1、ε2)のそれぞれがさらに二重星。ε1は5.0等と6.1等、ε2は5.1等と5.4等の連星系。

しろいメール配信サービスに登録しましょう

右のQRコードで登録してください。イベントの前にメールが届きます。

- ◎文化センターイベント情報
- ◎コンサート情報 ◎イベント講座情報

